

回復期リハビリテーション病棟 ご紹介

湘南慶育病院



藤沢市
地域住民・患者さん



慶應義塾大学
湘南藤沢キャンパス



湘南慶育病院
Shonan Keiiku Hospital

回復期リハビリテーション病棟のリハビリとは

私たちスタッフは患者様が「自分らしい生活」を取り戻せるよう支援します。

- 1.食事は食堂（談話室）で口から食べて頂くよう取り組みを推進します。
- 2.排泄はトイレで行い、オムツは極力使用しないよう支援します。
- 3.入浴は週2回です。
- 4.毎食後の歯磨き、整容など清潔ケアを行います。
- 5.日中は普段着で過ごし、更衣は朝夕行います。

「家庭復帰」「社会復帰」「寝たきり予防」などを目的に集中的なリハビリテーションを行う病棟です。

回復期リハビリテーション病棟の一日

6:00

起床、洗顔、更衣など朝の身支度

※普段着（運動着）を
3着以上ご用意ください。

7:30

食堂で朝食、食後の歯磨き、トイレ

リハビリスタッフとのリハビリテーション

12:00

食堂で昼食、食後の歯磨き、トイレ

リハビリスタッフとのリハビリテーション

18:00

リハビリから帰室後、更衣。
夕食、食後の歯磨き、トイレ、就寝の準備

※パジャマを3着以上
ご用意ください。

21:00

消灯

※病棟での生活全てが在宅復帰、社会復帰のための準備です。

回復期リハビリテーション病棟の特色

季節行事



病棟でのレクリエーション
や行事食、その他年に一回開
催される
「健育祭」もあります。



365日 リハビリテーション

当院ではリハビリテーションを365日実施しています。
患者さんの病状によりリハビリ時間が変わります。

※普段着（運動着）を3着以上ご用意ください。



回復期リハビリテーション病棟の流れ①

回復期リハビリテーション病棟へ入棟

第1回カンファレンスの実施 (1週間以内)

主治医・看護師・相談員・リハビリスタッフ・管理栄養士で患者さんにあった目標を話し合います。

※リハビリテーション総合実施計画書をお渡しします。



カンファレンス

目標の見直しを毎月1回実施します。

目標にあったリハビリテーションを実施

例

調理練習

食材の買い出しから調理まで自宅での様子を想定し調理練習を実施

家族のために
ご飯を
作りたい



入浴練習

体が動かしにくい場合、
どうやって洗えばいいかなど
入浴練習を実施

大好きな
お風呂に
入りたい



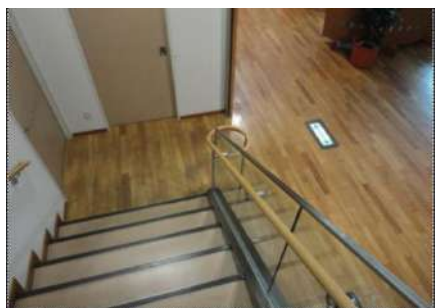
回復期リハビリテーション病棟の流れ②

家族指導

介助方法は?!

自宅での生活を想定した歩行や車いすへの
移乗などご家族に指導します。

退院前自宅訪問



- * 必要に応じて家屋調査を行います。
- * 自宅の階段等の写真を撮って頂くことがあります。
- * 住宅改修等のアドバイスを実施します。

注) 病院からご自宅までの往復タクシー代は
患者、ご家族負担となります。

外出・外泊練習

外出や外泊練習で退院までの不安や退院までの
課題を確認します。

退院

入院中について

入院中の部屋について

個室・大部屋希望はお受けしますが、病状によっては希望に添えない場合や、治療上管理するために、部屋移動をお願いすることがあります。

入浴について

入浴は週2回予定しています。（機械浴・介助浴）

連絡先について

入院中にご家族様の連絡先が変更 になった場合は、病棟スタッフへご連絡ください

入院中の生活について

- ・治療食の方や禁食の方もいるため、医師の指示がなければ病院で出されたもの以外の持ち込みは遠慮してください
- ・集団生活のため生花等はアレルギーやにおいが不快と感じる方もいるため持参をしないでください
- ・外出、外泊は医師の許可が必要です。あらかじめ確認してから書類記載の上出かけてください

入院中について

冷蔵庫使用について

部屋によっては冷蔵庫が備え付けてありますが、大部屋と一部の個室には冷蔵庫はありません。談話室に共有の冷蔵庫があるので、部屋番号と名前を記載し使用してください。

週1回冷蔵庫内を清掃します。賞味期限が切れている場合等は破棄させていただきます。

共有使用のため、たくさんの持ち込みはご遠慮ください。

持ち物について

持ち物は最低限必要なもの以外持参しないでください。

（指輪など装飾品の持参はしないでください）

また自己管理できない方は持ち物に名前の記載をお願いします。

最低限の持ち物確認は行いますが、紛失する可能性があるため、貴重品はキーBOXの利用をお願いします。

（紛失しても責任は負いかねます）

＊はさみ・カミソリ・爪切りを含む危険物の持込はご遠慮ください

安全な入院生活を送るためのお願い！①

入院生活を安全に送るため、医師と相談のうえ必要な配慮をとりながら対応を行います。

・どのような危険がありますか？

➡せん妄 転倒・転落 患者誤認 誤嚥性肺炎などが代表的です。

・せん妄はどのようなものですか？

➡環境の変化や身体の不調により二次的に生じる意識障害です。

※患者さんが安心できる環境づくりのために、家族の協力をお願いすることがあります。また、いつも使っている眼鏡、補聴器をお持ちください。

普段の過ごし方や、患者さんの好きなこと、嫌いなことについて医療者に伝えてください。

・転倒はどのような時に起こりますか？

➡歩行訓練中や階段、エレベーター、屋外の歩行中などで起こりやすいです。

※リハビリスタッフが側にいないときに歩くことや、病棟外での活動を制限させて頂く場合があります。

・転落はどのような時に起こりますか？

➡ベッドから車いすへの移動、車いすからトイレへの移動の時に起こりやすいです。

※これらの移動時には病棟スタッフをお呼びください。

安全な入院生活を送るためのお願い！②

・患者誤認とは？

- ➡名前をお呼びした時に、自分の名前でなくても「ハイ」と返答することがあります。
そのため患者を間違える可能性があります
※防止するために必ず名前を名乗ってもらいます。
若しくはリストバンドでの確認を行います

・誤嚥性肺炎はどのような時に起こりますか？

- ➡飲み込みの機能が低下して、誤って気管に食べ物が入ると、肺炎になることがあります。
飲み込みが難しく、嚥下訓練をおこなっている患者さんは特に起こりやすいです。
※食事形態や食事中の姿勢をご指導させていただきます。

充実したリハビリテーション体制

当院には、常勤リハビリテーション医師1名、理学療法士50名・作業療法士38名・言語聴覚士10名(2020年4月時点) が在籍しています。明るく広々としたリハビリテーション室に数多くの機器が整備され、入院から在宅復帰まで切れ目のない365日リハビリテーションを提供しています。

当院の在宅復帰率は**2020年4月時点で88.8% (全国平均78.3%)** となっています。



車椅子や福祉用具に関しては、セラピストが評価を行い個々の体型に合わせてレンタルを行っています。**(レンタル料金は、病院負担です)**

他病院との連携として、地域連携パスを積極的に活用し情報共有を図っています。さらに、紹介元病院には退院時の状況をお知らせし連携に勤めています。



湘南慶育病院

退院時状況・地域連携パス



紹介・地域連携パス

他病院

家庭復帰までの安心サポート



今後の生活に関する不安に対し、入院直後から医療ソーシャルワーカーが担当医師とチームサポートをしています。退院に向けた介護保険サービス調整、必要に応じ家屋改修も行います。また、早期の家庭復帰を目的として、セラピストが病棟内に常駐し、看護師と共に日常生活が自立できるようにサポートしていきます。

リハビリテーション室の紹介



身体機能を改善するために、基礎練習を中心に行うリハビリテーション室となっています。理学療法士や作業療法士が、患者さんの症状に合わせた機器を使用し、また動きやすくするための補助具や機器を選定しリハビリを行います。



日常生活などの応用練習を行うリハビリテーション室となっています。

調理などの家事動作が、実践的に行え、且つ楽しく行えるように工夫しています。また、インテリアにもこだわった空間になっています。



机上にて趣味や余暇活動、レクリエーション等が行えるリハビリテーション室となっています。

また、この部屋では3Dプリンターやデジタルアートなどの取組みも行っています。

歩行練習に効果的なリハビリテーション機器



圧力センサーが内蔵されたウォーキングマシンは、歩行時の足底の圧力と姿勢がリアルタイムに測定できます。

どのように歩いているのか前方の大型モニターに表示されるので、その場で修正が可能となり、歩行能力の向上が期待されます。



天井設置型免荷装置は、ハーネスを装着し天井から身体を吊るので転倒することがなく、安全な歩行練習が可能になります。ウォーキングマシンと比べて平地での歩行の感覚に近づきます。免荷量によっては無重力に近い感覚で歩くことも可能です。

関節にやさしい筋力トレーニングが可能



筋力トレーニングマシンはエアコンプレッサーにより一定の負荷を維持できます。そのことにより、トレーニング中の急な脱力にも関節の負担は少ない設定です。個々の筋力に合わせたプログラムをリストバンドで管理します。

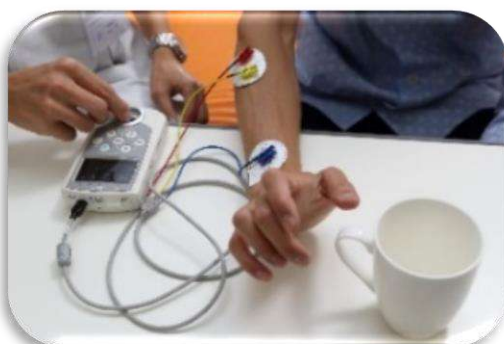
上肢に特化したリハビリテーション

上肢運動ロボット（ReoGo）



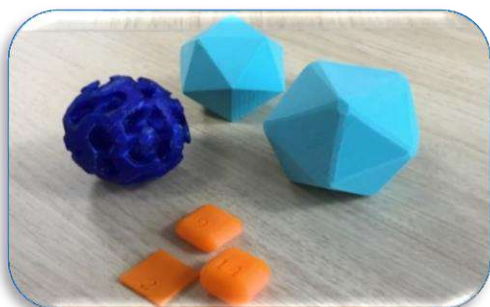
上肢運動ロボットは、多様な方向にレバーが動き、目標として生活（食事等）の細やかな動きの設定が可能です。

様々な電気刺激装置



IVES、NM-F1、ESPURGEと3種類の神経筋電気刺激装置があります。手指の運動に応用し身体機能向上が期待されます。また、下肢への応用も可能。

3Dプリンターで作成した物品



慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスと連携し、個々の手のサイズや能力に合わせた練習物品を作成しています。

上肢装具と作成備品



腕から指先までの装具を身体機能に合わせて作成し、生活がしやすいようにサポートします。

KiNvis 自己運動錯覚装置



動画を使用し、麻痺がある手を動かしているような錯覚を誘導します。それにより、運動機能の向上が期待されます。

コグニバイク



足漕ぎ運動と頭を使いながら手を動かすことが同時に可能です。認知予防と足の運動が効率的に行えます。

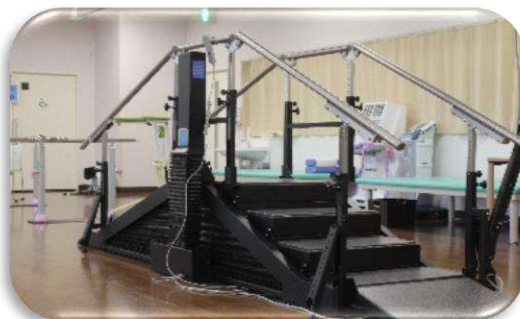
下肢・体幹に特化したリハビリテーション

昇降式Bedとレッドコード



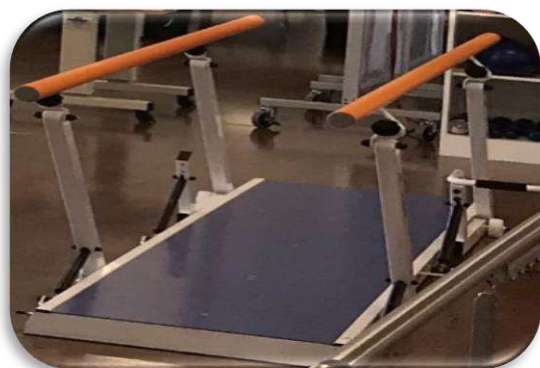
レッドコードは、能力に合わせた様々な設定が可能です。障害者からスポーツ、健康増進と幅広い分野のエクササイズに活用されています。

昇降式階段システム



ボタン操作で段差が変更でき、運動能力に合ったレベルで階段昇降が可能です。ご自宅の環境に合わせることができます。

傾斜式平行棒



平行棒での歩行練習に加え、傾斜機能が付き、ご自宅周辺の環境に合わせられ、床面のデコボコも設定可能です。

免荷式装置とトレッドミル



身体を吊るしながら、歩行時の足の振出しをゴムバンドで手助けすることが可能な設定です。

ストレングスエルゴ



背もたれつきシートのため、自力で座れなくても足の筋力測定が可能です。さらに、アシスト機能が付き能力に合った負荷量に調整できます。

イージーテック



F I F A 公認の膝関節筋力の測定とトレーニングが可能となった機器です。

対象となる疾患、入院日数

対象疾患	病棟に入院できる 最大期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の 発症後もしくは手術後	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180日
多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折	90日
外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	60日
股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日

※上記入院期間は入院期間の上限であり、入院期間に関しては患者様の病状に応じて主治医が決定します。

入院当日のお持物・提出物

◇ご家族にご準備頂くもの（手続き用）

健康保険証類一式
当院診察券（外来受診や入院歴のある方）
認印（苗字が異なる場合はご本人・ご家族の苗字それぞれをお持ち下さい）

◇ご家族にご準備頂くもの（病棟用）

運動着 3着以上（動きやすい服）
パジャマ 3着以上（リースも可能）
下着・靴下
着脱しやすいシューズ（スリッパ不可）
洗面（コップ・歯磨き粉・歯ブラシ）
入浴用具（体を洗うタオル・ボディーソープ・シャンプー）
テレビ用イヤホン（個室入室の方以外）
ティッシュペーパー
義歯ケース・電気カミソリ（充電器）・ヘアブラシ ※使用している方
保湿剤（ローションタイプ等皮膚になじみやすいもの）※必要時
洗濯物を入れるビニール袋（大き目の袋3枚）

当院では専門業者と連携して「入院セット」をご用意しています。入院セットには清潔管理された寝衣、タオル類、入浴用具、食事用ビニールエプロンなどが含まれています。

衛生管理と感染予防の観点から、セットでのご用意を推奨します。ご自身でご利用する場合は、自己責任で清潔管理をお願いいたします。またお持ちになった物には記名をお願いいたします。紙オムツが必要な方は病院で用意させていただきます。ご使用の際代金は入院費と共に請求させていただきます。

◇医療機関から発行して頂くもの

退院証明書（過去3ヶ月以内に入院歴がある場合、退院時に発行されたもの）
診療情報提供書（原本）
看護サマリー（原本）
リハビリサマリー（原本）
内服薬（外用薬、注射薬も含む）
ペースメーカー手帳、ICD手帳、PEG（胃ろう）カードなど



【湘南台駅】からバス利用の場合

湘南台駅西口1番バス乗り場から、神奈中バス「湘23系統慶応大学」「湘24系統笹久保経由慶応大学」「湘25系統急行・慶応大学」行きに乗り、「慶応大学」バスロータリーで下車(約10～15分)。バス停から徒歩1分。



【辻堂駅】からバス利用の場合

辻堂駅北口2番バス乗り場から、神奈中バス「辻34系統慶応大学」「辻35系統急行・慶応大学」行きに乗り、「慶応大学」バスロータリーで下車(約20分)。バス停から徒歩1分。



病院概要

病院名	湘南慶育病院
病院所在地	〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤4360番地
設 立	2017年(平成29年)11月
病床数	230床
診療科	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓・内分泌・代謝内科、脳神経内科、外科、消化器外科、整形外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科
敷地・建物概要	敷地面積：30,579.20㎡ 建築面積：3,685.17㎡ 延床面積：15,393.88㎡
運 営	医療法人社団 健育会